

Q 前橋市の29年度決算を家計簿にしてみると、どうなりますか？

A 市税などを年収500万円とした場合、次のようになります。

収 入					
平成29年度一般会計決算(年額)			家計にたとえた場合(年額)		割合
自主財源	市税など	707億7,106万円	年収	500万円	49.5%
	基金取崩	32億7,308万円	預金引き出し	23万円	2.3%
依存財源	国・県支出金、交付税など	531億2,823万円	親からの援助	376万円	37.1%
	市債	158億8,110万円	ローン借り入れ	112万円	11.1%
合 計		1,430億5,347万円	合 計	1,011万円	

支 出					
平成29年度一般会計決算(年額)			家計にたとえた場合(年額)		割合
義務的経費	人件費	210億2,499万円	食費、通信・交通費など	149万円	15.0%
	扶助費	303億3,169万円	医療費・保険料など	214万円	21.6%
	公債費	151億8,513万円	ローン返済	107万円	10.8%
物件費		186億5,291万円	光熱費、被服費など	132万円	13.3%
投資的経費・維持補修費		243億9,394万円	自宅修繕・車購入など	173万円	17.4%
補助費等		108億5,803万円	クラブ活動費など	77万円	7.8%
繰出金		119億6,260万円	子どもへの仕送り	84万円	8.5%
積立金・投資及び出資金・貸付金		77億6,759万円	貯金	55万円	5.6%
合 計		1,401億7,688万円	合 計	991万円	

繰越金					
平成29年度一般会計決算(年額)			家計にたとえた場合(年額)		割合
繰越明許費		3億8,763万円	カード引去確定額	3万円	13.5%
財政調整基金等積立		13億円	貯金	9万円	45.2%
29年度予算繰越		11億8,896万円	財布残金	8万円	41.3%
合 計		28億7,659万円	合 計	20万円	

○ 収入では、自主財源である「年収・預金引き出し」が51.8%に対し、国・県支出金等である「親からの援助」が37.1%も占めています。これは、国の仕事を市が代わって行っているものなどがあるからです。このため、現在、国と地方の収入割合の見直しが進められています。

○ 支出では、全体とすると平成28年度より縮小したものの、「光熱費、被服費など」が増加しました。

○ 繰越金については、借金返済や経済状況の変化に備えて、45.2%を貯金しました。

※この家計簿は、平成29年度一般会計決算をベースに、市税などの自主財源(707億7,106万円)を年収500万円として、これを基準に各費目を一般家庭の項目に置き換えたものです。

※数字は、集計の都合上、端数整理をしています。